

<学部消息>

教 授 会 メ モ

1月16日(水) 定例教授会

理学部4号館 1320号室

1. 前回議事承認
2. 人事異動等報告
3. 理学部規則の一部改正について
4. 教務委員会報告
5. 大学院総合計画委員会報告
6. その他

2月20日(水) 定例教授会

理学部4号館 1320号室

1. 前回議事承認
2. 人事異動等報告
3. 学士入学について
4. 転学部について
5. 昭和55年度受託研究員の申請について
6. 評議員改選
7. 植物園長選出

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 8. 素粒子物理学国際協力施設長選出 | 13. 人事委員会報告 |
| 9. 中間子科学実験施設長選出 | 14. 会計委員会報告 |
| 10. 地殻化学実験施設長選出 | 15. 教務委員会報告 |
| 11. 人事委員会・会計委員会委員半数改選 | 16. 新入試制度検討委員会報告 |
| 12. 企画委員会報告 | 17. その他 |

人 事 異 動

(助手)

所 属	官 職	氏 名	発令年月日	異 動 内 容 (備 考)
植 物 園		邑 田 仁	55. 1. 16	助手に採用
化 学	助 手	磯 谷 順 一	55. 1. 10	辞職

(講師以上)

情 報	助 手	川 合 慧	55. 2. 16	講師に昇任
"	講 師	榎 本 彦 衛	55. 2. 16	助教授に昇任

(一般職員)

事 務	事 務 長	田 村 文 雄	55. 1. 16	配置換 (原子力研究総合センターから)
人 類	事 務 官	小 黒 美穂子	55. 1. 16	配置換 (庶務部から)
中 間 子		佐々木 英 行	55. 1. 16	文部技官に採用

海 外 渡 航 者

所 属	官 職	氏 名	目 的 国	期 間	目 的
素粒子	助 手	駒 宮 幸 男	ドイツ連邦共和国	1. 10～ 56. 1. 9	国際協同実験 JADE 参加のため
臨 海	助 手	佐 藤 寅 夫	インド	1. 19～ 2. 17	FAO/DANIDA 西部インド洋海産漁業生物の野外同定に関する専門家会議出席のため
人 類	教 授	尾 本 恵 市	アメリカ合衆国	1. 13～ 1. 19	人類集団遺伝学に関する日米科学協力セミナー出席のため
物 理	教 授	桑 原 五 郎	中華人民共和国	1. 31～ 2. 14	現代化過程における中国の教育・研究の視察のため

所 属	官 職	氏 名	目 的 国	期 間	目 的
地 物	助 手	浜 野 洋 三	アメリカ合衆国	1. 21～ 56. 1. 20	岩石磁気学に関する研究のため
地物研	助 手	三 浦 彰	アメリカ合衆国	1. 27～ 2. 14	高緯度電場に関するチャップマン会議出席および超高層プラズマ物理学に関する研究連絡のため
化 学	教 授	藤 原 鎮 男	アメリカ合衆国	1. 26～ 2. 6	化学における情報科学の研究のため
化 学	助 手	梅 沢 喜 夫	アメリカ合衆国	1. 26～ 2. 6	電気化学に関するゴードン会議出席および分析化学に関する研究連絡のため
地物研	助教授	小 川 利 紘	イ ン ド	1. 26～ 2. 29	日食観測および超高層大気に関する共同研究のため
地 物	助 手	中 村 一	イ ン ド ネパール	2. 2～ 2. 20	気象・生物工学における最近の計算機技術に関する仏・印共同研究会出席およびヒマラヤ地域の気象研究の調査のため
動 物	助教授	川 島 誠一郎	オーストラリア	2. 7～ 2. 20	第6回国際内分泌学会議出席および内分泌学に関する研究連絡のため
天 文	助 手	家 正 則	カ ナ ダ	2. 22～ 5. 21	銀河の定量解析の研究実施のため
物 理	教 授	久 保 亮 五	中華人民共和国	2. 20～ 2. 28	物理学に関する研究交流のため
物 理	教 授	山 崎 敏 光	中華人民共和国	2. 20～ 2. 28	物理学に関する研究交流のため
化 学	教 授	向 山 光 昭	アメリカ合衆国 メキシコ	2. 22～ 3. 6	有機合成化学に関する研究連絡のため
化 学	教 授	朽 津 耕 三	アメリカ合衆国	2. 17～ 3. 7	準安定希ガス原子と気相及び凝縮相分子間のエネルギー移動過程に関する共同研究実施および第8回オースチンシンポジウム出席ならびに化学に関する研究連絡のため
物 理	助 手	天 埜 堯 義	アメリカ合衆国	2. 22～ 3. 3	レーザー分光学に関する調査研究のため
物 理	教 授	有 馬 朗 人	アメリカ合衆国	2. 23～ 3. 6	回転帯構造と原子核の動力学についての国際会議出席および原子核理論に関する研究のため

留 学 生 懇 親 会

2月25日(月)の夕刻、山上会議所で理学部および理学系大学院の留学生、客員研究員を招待し懇親会が行われた。外国人学生委員野田教授の歓迎の辞に続いて、理学部長西島教授の「日本の天気をなんとかしてほしいといわれても困るが、できることはなんでもするから云ってほし

い……」という話があり、刺身などをさかかにビールの杯を傾けつつ歓談が行われ、留学生の許東俊(地球物理学)氏の挨拶があって会を閉じるまで二時間をなごやかに過ごした。参加者は七十名を越えた。



懇 親 会 場 に て